

ふれあい記録

実施日：平成28年1月21日

当番者名 細矢 清志 小俣 悦男

コース名：独自コース33番 「三浦富士と武山」 (通し番号 第115回)

天 候：晴れ

参加者名：相川 勲、市瀬 英雄、岩崎 宗郷、江口 正彦、小俣 悦男、神谷 順子
功力 満紀子、柴崎 幸治、新海 昭、中山 博、西村 寿文、根本 邦子
細矢 清志、堀井 克子、宮原 さち子、山奥 利光、山越 策次郎、吉田 千代
(18名)

ビジター：船橋 えい子、林 洋 (2名)

計20名 (内、男14名 女6名) (五十音順)

交通：<往き>京急長沢駅 駅前広場(交通：集合場所へ各自交通機関利用)
<帰り>津久井浜駅で解散(自宅へ各自交通機関利用)

コース：11時00分(発) ⇒ 三浦富士山頂(183m)11時50分(着) ⇒ 砲台山(大塚山、204m)12時30分(着)<昼食>13時00分(発) ⇒ 武山(200m)13時30分(着)<コーヒタイム>14時00分(発) ⇒ 津久井観光農園 14時30分(着) ⇒ 津久井浜駅 15時00分(着) 解散

みどころ：①三浦富士の山頂には浅間神社が祀られ「浅間神社奥宮」と彫り込まれた碑がたっている。古くから漁師たちは三浦富士と武山を目印として、漁場の位置と帰るべき港の方向を知り、また、大漁祈願や海の安全において頼りになる山で、それによって信仰に結びついたと考えられる。三浦富士は標高183mと高い山ではないが、山頂からは富士山をはじめ東京湾、伊豆大島や房総半島が望めた。

② 砲台山の山頂には昭和初期に海軍が造った高射砲のすり鉢状砲台跡があり目を引く。

③ 武山は山頂に三浦半島霊場の一番札所、龍塚山持経寺武山不動院があり、毎年、1月28日の「初不動」の日に本尊の不動明王が御開帳され、多くの人で賑わう。山頂一帯には約2,000本のツツジが植えられ、例年、4月下旬から5月にかけて武山ツツジ祭りが開催されている。

自然観察：今日は大寒にも拘わらず、標高200m前後の三浦富士や砲台山、武山の山頂でも13℃～14℃あり、その暖かさに驚かされた。道すがらの梅は一気に開花。他にカントウタンポポ、ホトケノザ、ナズナ、イヌノフグリ、スマレ、スイセン、ツルニチニチソウ、菜の花、エンドウ豆の花、ツツジの花、藪椿の花など多くの花が目を楽しませてくれた。

特記事項：①本来この時期には三浦富士の山頂から雪をかぶった素敵な富士山が海原の先にはっきり見えるのだが、大気の状態が霞んでいたため視界はいまひとつであった。

②全国に「富士」と名のつく郷土富士(ご当地富士)は約350あると言われており、我々が住む神奈川県にも、三浦富士、川和富士、羽沢富士、半原富士(仏果山)など七山がある。全国的に見て著名なご当地富士は以下の如くです。蝦夷富士(羊蹄山)、津軽富士富士(岩木山)、出羽富士(鳥海山)、会津富士(磐梯山)、信濃富士(黒姫山)、薩摩富士(開聞岳)など。郷土富士の多くは山容が富士に似ていることによるが、富士とは似ても似つかぬ山までその山容は実にさまざま。しかし、それぞれ地元の人々の日本一美しい山「富士山」に対する憧れと思いが郷土富士という名前になって表されているといえる。